

宮城県感染症発生動向調査情報(第25週)

宮城県【平成26年06月26日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.6.16 ~ 6.22 ・ 第25週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第22週	第23週	第24週	第25週	
水痘	2 0.40	9 0.90	2 0.40		3 1.00	3 0.60	3 1.50	20 0.77	42 0.72	1,135	○→	○→	○→	○	
流行性耳下腺炎					2 0.67			10 0.38	12 0.21	305	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	33 6.60	39 3.90	3 0.60	8 4.00	20 6.67	35 7.00	4 2.00	189 7.27	331 5.71	12,373	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病	1 0.20					1 0.20		2 0.08	4 0.07	44	→	→	→		
伝染性紅斑	13 2.60	13 1.30	11 2.20	5 2.50	14 4.67	23 4.60	33 1.27	112 1.93	1,129	○→	◎→	◎→	◎		
突発性発しん	4 0.80	7 0.70	7 1.40		3 1.00	6 1.20	2 1.00	14 0.54	43 0.74	892	○→	○→	レ→	○	
ヘルパンギーナ		7 0.70		1 0.50			1 0.50	1 0.04	10 0.17	25	→	→	→		
インフルエンザ				3 1.00		1 0.13		1 0.02	5 0.05	28,898	レ→	レ→	→		
咽頭結膜熱	1 0.20	19 1.90		1 0.50	1 0.33	8 1.60		17 0.65	47 0.81	323	→	○→	レ→	○	
流行性角結膜炎		3 1.00						1 0.17	4 0.33	68	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19 3.80	21 2.10	13 2.60	1 0.50	14 4.67	17 3.40	3 1.50	70 2.69	158 2.72	3,447	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎			1 1.00		1 1.00		6 6.00	3 0.60	11 0.92	222	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症								10 0.38	10 0.17	325	→	→	→		
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	8	3			1	1	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病	1								【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	不明発疹症														
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※							1	1	52					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)	年齢別 (%)											総数 (人)
		0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~	
2014年 第22週		11.4	54.3	22.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	35
第23週		18.2	18.2	27.3	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	11	
第24週		14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7	
第25週		20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	5	

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。		
インフルエンザC型	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	2件
ヒトメタニューモウイルス	4件	4件
RSウイルス	3件	1件
アデノウイルス	1件	3件

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第23週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(5.29)、山形県(0.75)、鹿児島県(0.72)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は14例と前週と比較して減少し、12府県から報告があった。RSウイルス感染症: 報告数は252例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は第20週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(2.77)、富山県(1.97)、鹿児島県(1.82)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は島根県(4.96)、福岡県(4.39)、山形県(4.37)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(14.46)、福井県(12.45)、大分県(10.81)である。水痘: 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は岩手県(2.93)、長野県(2.49)、新潟県(2.36)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は長野県(0.82)、富山県(0.80)、高知県(0.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は3週連続で減少した。36道府県から148例報告があり、年齢別では10歳(17例)、1~4歳(110例)、5~9歳(19例)、10代(2例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし *男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
塩釜管内 男性1名
栗原管内 男性1名
石巻管内 女性1名(第23週)
仙台管内 男性1名、女性1名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
仙台管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
仙南管内 男性2名、男児*1名、女性3名、女児*2名
塩釜管内 男性1名、女児*1名
腸管出血性大腸菌感染症(O28ac)
仙台管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
仙南管内 女性1名
パラチフス
仙台管内 女性1名
4類感染症: レジオネラ症
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性1名
5類感染症: 報告なし

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[伝染性紅斑]

仙南、大崎、栗原、登米、石巻管内で警報継続中。

[病原体検出情報]

~宮城県保健環境センター~

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内	第22週採取分	ノロウイルスG II	1件
	第23週採取分	サボウイルス	1件

腸管出血性大腸菌感染症患者より

仙南管内のO26関連	第24週採取分	O26	2件	第25週採取分	O26	4件
塩釜管内のO26関連	第25週採取分	O26	3件			

~仙台医療センターウイルスセンター~

	第23週採取分 (6.2~6.8)	第24週採取分 (6.9~6.15)	第25週採取分 (6.16~6.22)
インフルエンザウイルスC型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	2件	0件
ヒトメタニューモウイルス	4件	4件	0件
RSウイルス	3件	1件	2件
アデノウイルス	1件	3件	1件

[感染性胃腸炎]

県は、平成25年12月19日に発令した「感染性胃腸炎警報」を6月26日に解除しました。

[腸管出血性大腸菌感染症]

腸管出血性大腸菌の感染は、飲食物を介した経口感染やヒト-ヒト感染などによって引き起こされる感染症である。今週、仙南、塩釜、仙台管内で患者報告があり、保健環境センターでも検出されていることから特に注意が必要である。